



『参画』と『役割分担意識』について

○参画とは？

『参画』には「計画にまじわる」という意味があります。単に参加をするだけではなく、自らの意思で社会の方針や計画の決定に携わり、責任と負担を担う、主体的で積極的な態度や行動の事を言います。

○固定的役割分担意識とは？

固定的役割分担意識。男女共同参画を推進する上でよく耳にする言葉です。

これは「男は仕事、女は家庭」という風に男女という性別を理由として、役割を固定的に決めてしまうことを言います。

上記のような極端な考え方には反対していても、「男はこうだ」「女はこうだ」という考え方やイメージを持っていませんか？

例えば普段の生活の中で…

- ☐ 細かい事を気にする男性に「男らしくない」と言ってしまう。
- ☐ 大雑把で活動的な女性に「女らしくない」と言ってしまう。
- ☐ 地域活動などでは、実際に活動に参加するのは女性が多くとも、リーダーは男性がした方が良いと思う。

例えば家庭の中で…

- ☐ 家族の重要な決定事項は、父親の意見が優先されるべきだと思う
- ☐ 母親が出かける時は、家族への食事を準備していくべきだと思う
- ☐ 家事の手伝いは娘にさせるべき。息子が手伝わなくても気にならない。

例えば職場の中で…

- ☐ コピーや電話対応などの定型的な事務作業は、女性の方が向いていると思う。
- ☐ 共働きの家庭で、育児休暇を男性がとるのはおかしい。
- ☐ 飲み会等で女性がお酌をする、男性が費用を大目に負担する当然。

例えば教育の中で…

- ☐ 生徒会長や学級委員長は男子、副会長や書記などは女子が良い。
- ☐ 「男の子は強くたくましく」「女の子は控えめでおしとやかに」育てようとするのは普通の考えだと思う。
- ☐ 「保育士を目指す男子生徒」や「消防士を目指す女子生徒」はおかしいと思う。

みなさんはこれらのことに対してどう感じましたか？

これらは、人々の意識の中に長い時間をかけて形作られた性別による「役割」です。ですが「男らしくない」「女らしくない」と言う理由で、自分のやりたいことを制限されて能力が発揮出来なかったり、将来への選択肢が狭められてしまっは、どこか納得できませんよね。

人がどう思うかを気にせず「自分はこうしたい、こうありたい」と思う気持ちを大切にするためには作られた常識を一つ一つ見直して考えていく事が大切です。